

横浜 風の丘をめぐる (掃部山・伊勢山・野毛山)

日 時：4月21日(土) 9:00~9:15 集合

コース：平沼橋駅→平沼神社→杉山神社→掃部山公園→能楽堂→奉行所跡→伊勢山皇大神宮→延命院→亀甲積擁壁→野毛山公園→野毛山動物園前バス停：解散 12:00 頃 [徒歩約4km]

No	見 所	由 来 ・ 史 跡
1	水天宮 平沼神社	平沼九兵衛により天保10年(1839)に創建された。塩田の水路に水天宮の御札が流れ着いたのを拾い上げて、平沼新田の守護神として祀ったのが始まり。世の中で最初に現れた神様とされる天御中主神(あめのみなかぬし)と安徳天皇が御祭神。
2	杉山神社	白鳳3年(652)に創建。出雲大社の主神、大国主命(おおくにぬしのみこと)の分霊を祀った古社。狛ネズミの石像が創建1350年の記念に設置された。回転式で回すことができ、男性は神社に向かって右側のオス、女性は左側のメスに祈願する。
3	掃部山公園・ 井伊直弼銅像	江戸時代には不動山、明治になると鉄道山と呼ばれていた。横浜開港の立役者であり、彦根藩主だった大老「井伊掃部頭直弼」の功績をたたえるために旧彦根藩の有志が購入し掃部山と名付け、明治42年(1909)には銅像が建立された。
4	横浜能楽堂	本舞台は明治8年(1875)に旧加賀藩主の前田斉康邸に建てられ、大正8年(1919)に旧高松藩主邸に移築された「染井能舞台」を平成8年(1996)に復元したもの。2階から舞台と「初めて知る能・狂言の世界」の常設展を見学できる。
5	神奈川奉行所 跡	安政6年(1859)横浜村が開港場に選ばれ、野毛山の北の高台に奉行所が設けられた。野毛山が断崖をなして海に迫っており、開港場の中心から離れた地にあり、外国人に内政を秘密にでき、戸部が城砦にもできる要害の地であったのが理由。
6	伊勢山皇大神 宮	明治3年(1870)に横浜市民と港の守り神として、政府と県により創建された神社。天照大御神(あまてらすおおみかみ)が御祭神。2020年に創建150年を迎えることから、伊勢神宮より譲与された古社殿(内宮西宝殿)を復元予定。
7	成田山横浜別 院延命院	通称「野毛山不動尊」。本尊は不動明王。明治3年(1870)に成田山新勝寺より分霊を移して大田村(南区西中町)に遥拝所を設立したのが始まり。明治9年(1876)に高島嘉右衛門から敷地の寄進を受け、現在の地に移った。
8	野毛山住宅亀 甲積擁壁	旧平沼専蔵別邸石積擁壁及び煉瓦塀は、横浜市認定歴史的建造物。建築年は明治23年(1890)から明治26年(1893)の間。山手の西洋式の「ブラフ積み」と並んで有名。平沼専蔵は、明治期に生糸や米穀物商として成功した横浜の豪商。
9	野毛山公園	明治時代の野毛山は豪商たちの屋敷が立ち並ぶ住宅地だった。現在の散策地区には生糸貿易で財を築いた原善三郎の邸宅が、現在の野毛山動物園の区域には茂木惣兵衛の別荘があった。大正12年(1923)関東大震災で大きな被害を受け、被災地復興事業の一環で都市防災の要地、市民の憩いの場として公園を建設することになった。散策地区には中村汀女の句碑、佐久間象山の顕彰碑がある。野毛山動物園は入場無料。野毛のつり橋を渡ったところの野毛山地下配水池の上には、パーマーの記念碑、オリンピック記念碑、展望台等がある。

\*\*本コースは、道幅・歩道が狭いです。横に広がらないようにご協力をお願いします。\*\*

&lt;次回案内&gt;

## 畠山重忠ゆかりの地巡り

日時：5月19日(土) 相鉄：鶴ヶ峰駅改札口前 集合 9時~15分受付

会員募集中 !

\*問い合わせ先\* せや・ガイドの会 竹見 (☎045-302-3663)まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」[検索] <http://www7b.biglobe.ne.jp~seya-guide/>